

都営地下鉄

# 防災 ハンドブック



都営交通  
TOEI TRANSPORTATION



一般財団法人  
東京都営交通協力会

都営交通 お客様センター  
TEL. 03-3816-5700  
営業時間 9時～20時（年中無休）

東京都交通局ホームページ  
<http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/>  
東京都防災ホームページ  
<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/>



防災ハンドブック  
を読んで非常時に  
備えましょう

大雨が  
降ったら、駅は  
大丈夫なの？

火災が  
おきたら、  
どうすれば  
いいの？



地震が  
おきたら、  
どうすれば  
いいの？



都営交通  
TOEI TRANSPORTATION

# はじめに

『地下鉄に乗っているときに地震が起きたら、どうしよう』

『車内で・駅で火災にあったら、どうしたらいいの?』

『自分ができることってなんだろう?』

そのようなお客様の疑問にお答えし、安心して都営地下鉄をご利用いただくため、作成したのがこの『都営地下鉄 防災ハンドブック』です。

都営交通では施設の耐震補強や大規模地震、火災、豪雨、強風などの自然災害を想定した訓練など、ハード・ソフトの防災対策に取り組んでいますが、いざというときお客様の安全を確保するには、お客様のご協力が不可欠となります。

そこで、万一都営地下鉄をご利用の最中に災害が発生した場合に、都営交通がどのような対応を取るのか、またお客様ご自身はどのように行動すべきかなど、災害時に役立つ情報を小冊子としてまとめました。

お手元にてご活用いただければ幸いです。

## 目次

はじめに	P1-2
地震発生時の対策	P3-4
地震発生後の対策	P5-6
火災発生時の対策	P7-8
浸水防止の対策	P9-10
避難対策・安全対策	P11-12
各種訓練	P13-14



異常時総合訓練



ホーム中柱の補強



自然災害防止訓練



防水扉(トンネル内)

# 地震発生時

## ホーム



## 車内



### 車内予備灯・駅非常照明

万一、停電が発生しても、バッテリーによって約30分間は車内予備灯が点灯します。駅構内では非常用照明が点灯します。



車内予備灯



駅非常照明

## Q & A

Q 「走っている電車はどうなるの？」

A 「緊急地震速報を活用し、電車を安全に停車させます。駅と駅の間に停止した時は安全確認を行ったうえで、できるだけ最寄り駅まで運転します。震度4以上の場合は、震度に応じた施設などの点検を行います。」

## 早期地震警報システム

気象庁から配信される「緊急地震速報」を活用し、大きな揺れが到達するまえに列車無線で乗務員に通報して列車を停車させるシステムです。このシステムにより、地震発生時の迅速な対応と二次災害の低減が可能となりました。

# 地震発生後

ホーム

⚠ 駅員の誘導に従って  
避難します

⚠ 落ち着いて行動して  
ください



車内



⚠ むやみに外へ出ないで  
ください

⚠ 車内放送を聞きましょう

## Q & A

Q 「電車が動き出すまでどうすれば良いの？」

A 「復旧に時間を要する場合は、(地上の安全が確認され、一時滞在施設が開設されるまでの間)駅構内を一時的な待機場所としてご利用いただけます。また水や携帯トイレ等の備蓄も各駅に配備しており、必要に応じて提供いたします。」

## 施設の耐震対策

都営地下鉄の駅・トンネル等の施設は、阪神・淡路大震災クラスの地震にも耐えられる構造になっています。各線には地震計を設置しており、地震が発生したときは、震度に応じて、徐行や運転見合わせなどの規制を行い、安全を確認したうえで運転を再開します。

# 火災発生時

ホーム



⚠ 火元から離れて  
ください

⚠ 火災報知器で火災を  
お知らせください

⚠ 駅員の誘導に従って  
安全な場所へ避難します

車内



⚠ 安全な車両から備え付けの  
インターホンで通報してください

⚠ 安全な車両へ  
避難してください

## 車内の火災対策

地下鉄の車両は、安全に適した材料※を使用しています。万一、火災が発生した場合、発見されたお客様は、安全な車両に避難したうえで、車両備え付けのインターホン(非常通報器)で乗務員にお知らせください。車内間は扉で仕切られています。また、各車両には消火器が設置されています。



消火器

非常通報器

## Q & A

Q 「電車から外へ避難できるの？」

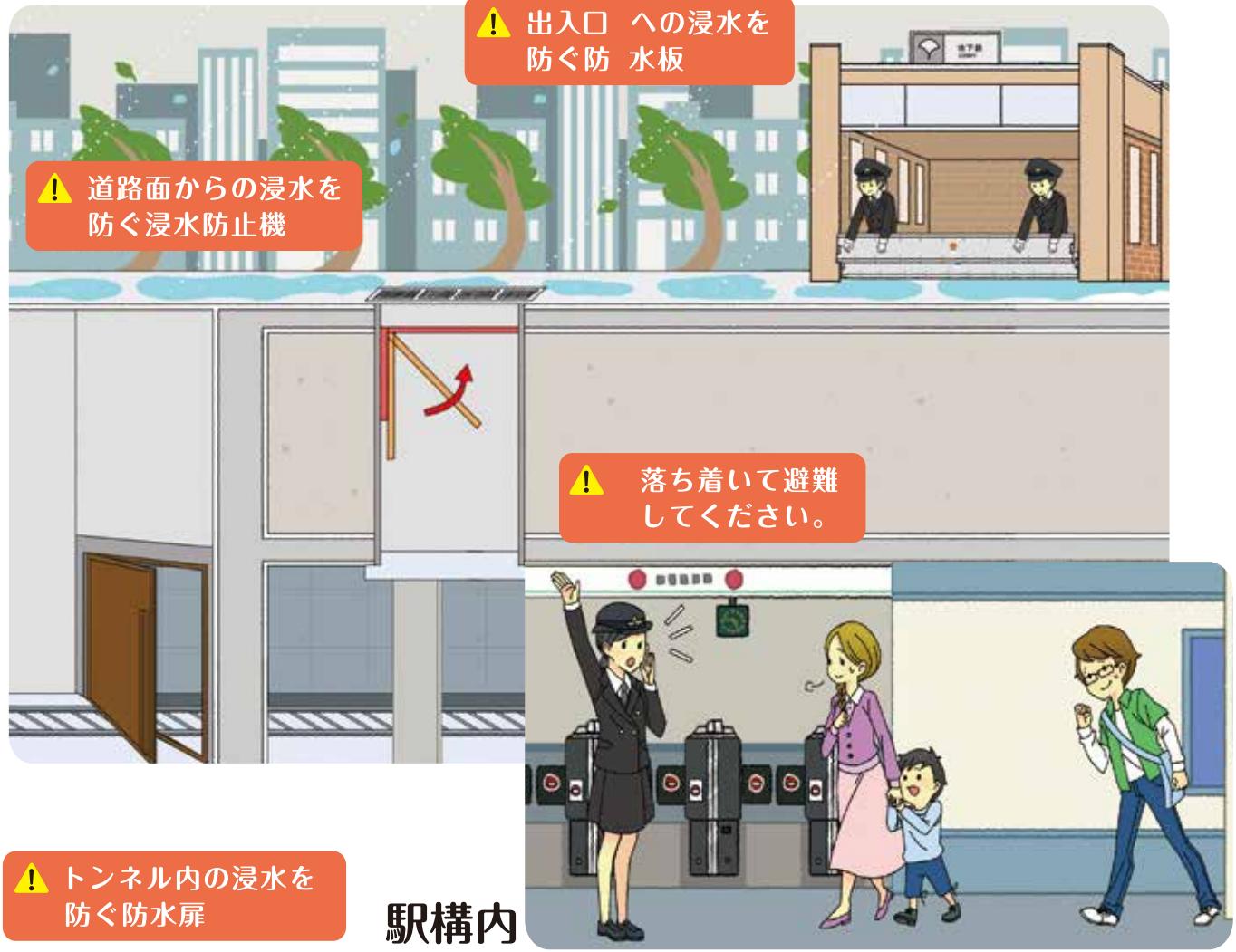
A 「走行中に火災が発生した時はできるだけ最寄り駅まで走行し、駅到着後にお客様に避難していただきます。また、電車最前部・最後部には扉がついており、いざというときは乗務員の誘導により車外へ避難できます。」

## 駅の火災対策

駅施設は、安全に適した材料※を使用しています。万一、火災が発生した場合に備えて、駅には自動火災報知機、スプリンクラー、誘導灯などが設置されています。

※国の基準に適合した不燃性又は難燃性の材料。

# 浸水防止対策



## Q & A

Q 大雨が降ったら、駅はどうなるの？

A 浸水を防ぐため、駅出入口には止水板や防水扉を設置しています。さらにトンネル内にも防水扉を設け、浸水があっても被害を最小限にとどめるようにしています。

## 駅の浸水対策

都営地下鉄全駅で避難計画を策定し、お客様を円滑、迅速に避難誘導する体制を整備しています。

# 避難対策

## 車両の避難口と仕切扉

トンネル内でも車両正面の避難口から避難できます。車両間には仕切扉が設置されていますので、隣の車両へ被害が広がらないようになっています。



## 駅の警報設備

駅長事務室には防災監視盤が設置されており、すぐにお客様の避難誘導に対応できるようになっています。



## 避難経路

全駅でホームから地上まで複数の避難経路を確保しています。避難経路には避難誘導灯等を設置しています。煙で高いところの誘導灯が見えなくなった時でも、床面や壁面に設置した蓄光式避難誘導明示物で避難方向を示しています。



# 安全対策

## 列車運行情報表示装置

通常は鉄道各社の遅延情報等を提供していますが、大規模災害発生時には NHK の緊急災害放送を提供します。



## 防災キャビネットの設置

震災等の発生に備え、エレベーター内に非常用防災用品を収納した防災キャビネットを設置しています。



万一、お客様がご利用の際に停止したままとなった場合には、救助までの間、防災キャビネットに収納された各種非常用防災用品をご利用いただくことが可能となります。

## 強風対策

地上部を走行する際、強風の影響による事故を未然に防ぐため、風速計を設置しています。強風時には、徐行や運転見合せなどの規制を行いますので、電車が遅れる場合があります。



## 帰宅困難者対策

利用者を一時的に駅構内で保護するために必要な物資（飲料水、防寒用ブランケット、簡易マット、簡易・携帯トイレ及び簡易ライト）をすべての駅に配備しました。



# 各種訓練

災害時等の異常事態に対する即応力の維持・向上を図るた  
め、日頃から職場単位で個別に訓練を行っています。

## 異常時総合訓練

異常時を想定し、列車防護、お客様の避難誘導、救出  
援護、連絡通報、脱線復旧、施設復旧等を内容とした  
大規模で実践的な訓練を実施しています。



め、日頃から職場単位で個別に訓練を行っています。  
同した総合訓練も行っています。



## 自然災害防止訓練

集中豪雨による、駅出入口からの浸水を想定し、止水  
板や土のうの設置、各部門間の情報伝達を確認するた  
めの訓練を実施しています。

## NBC対処訓練

警察・消防と連携し  
て、化学剤散布時の  
避難誘導や、不審物  
検知・採証・除去対  
処訓練を実施してい  
ます。

